

太刀 銘 雲生 裏に十の切付銘あり

法量 刃長 676mm 反り 21.0mm 元幅 27.0(27.6)mm 重ね 6.2mm 鎬重 7.6mm 先幅 13.9(14.8)mm 先重 2.7mm 先鎬重 3.4mm

形状 鎬造り、やや低い庵棟、腰反りつき、先幅落ちて小鋒。彫物 表は鎬地に腰樋を区上で丸留めとし、鎬筋上に梵字。裏は香箸と梵字。

鍛 板目やや流れて歪交じり、乱れ映り立ち、地斑映りが重なる。

刃文 焼き出しから細直刃とし、中程は直ぐ調の低い小互の目を連ね、物打ちから上を糸直刃とする。匂い深く、小沸つき、細やかな足入り、染みごころがある。

帽子 表直ぐに殆ど焼き詰め、裏は小丸わずかに返る。

茎 生ぶながら、先大きく摘まむ。鎬筋甘く、刃方面取り、棟方僅かに肉、鑢目大筋違い。刻銘「生」が「雲」に比して右へ寄る。

第38回重要刀剣。

縮小率45%

